



令和8年1月19日

指導課
学務課

未来へつながる学校
「川口市立芝園学園中学校」令和8年4月開校

学校における友達との関係づくりや勉強をもう一度スタートしたいと考えている不登校の児童・生徒を支援するため、芝西中学校陽春分校の校舎を活用して新たに「学びの多様化学校」と「夜間中学」を併設した「川口市立芝園学園中学校」を開校します。

記

- 1 時 期 令和8年4月
- 2 所在地 川口市芝園町3-18（現 川口市立芝西中学校陽春分校）
- 3 校 種 中学校 【昼間部】学びの多様化学校
【夜間部】夜間中学
- 4 特 徴

（1）学びの多様化学校
対面での教育活動を基本とし、生活上の配慮を講じながら集団での生活や体験的な学習・活動をするほか、特別の教育課程を編成することで生徒の社会的自立を目指します。

（2）夜間中学
芝西中学校陽春分校を令和8年3月で閉校し、芝園学園中学校陽春分校として開校します。教育活動については、現在の芝西中学校陽春分校と変更はありません。
- 5 その他 学びの多様化学校の詳細は別紙をご確認ください。

別紙資料 学びの多様化学校の概要

- (1) 学校名 川口市立芝園学園中学校（夜間中学は芝園学園中学校陽春分校）
- (2) 開校時期 令和8年4月（埼玉県内初、同時期にさいたま市でも開校予定）
- (3) 設置形態 本校型（【昼】学びの多様化学校（本校）、【夜】夜間中学（分校））
- (4) 学校のコンセプト 「つながる学校」
- (5) 方針
 - ①生徒の社会的自立を目指す
 - ②対面での教育活動を基本とし、集団での生活や体験的な学習・活動を通して生徒の社会性を養う
 - ③生徒一人ひとりに寄り添い、心の安定を図りながら、学習支援を行う
- (6) 対象となる生徒
 - ・川口市内に在住していること
 - ・病気または経済的な理由以外で概ね年間30日以上欠席、または保健室、相談室、校内教育支援センター、教育支援センター等に通っており、現在もその状態が続いていること
 - ・入学前から在籍校を通じ、教育支援センターへ継続的に相談するなど、情報が共有されていること
 - ・生徒に本校へ登校しようとする意欲があること
 - ・保護者の本市多様化学校に関する理解が確認できること
 - ・通常学級に在籍している生徒
 - ・教育委員会により学びの多様化学校での支援が適切であると判断されていること
- (7) 受け入れ人数 各学年15名程度を想定（各学年1学級、通常の学級）
- (8) 学びの多様化学校の生活における特色
 - ①登校
朝が苦手な生徒や地域の中学校に通う生徒との接触に配慮すること、公共交通機関が混雑する時間を避けるための工夫として9時25分に設定することを想定。
 - ②朝の会・帰りの会
見通しをもって生活することができるよう、1日の生活の確認をすることだけでなく、会話を通じたコミュニケーションを図る時間を想定。
 - ③授業
1時間の授業は通常50分のところを45分に設定し、授業中にどうしても心が落ち着かない場合には、別室で過ごすことを選べるよう想定。
 - ④生活上のきまり
学校に行きづらさを感じている生徒にとって、少しでも通いやすい学校になるようこれまでの学校にあるルールや活動などを見直し、生活上のルールについては必要最低限のものになるよう検討。
 - ⑤学習
年間の授業時数を通常1,015時間で行なっているものを、840時間に設定。地域の学校には見られない新設の教科を設置し、個に応じた学習をするための時間を週3時間設け、教科（国・社・数・理・英）の授業内容に関連した学び直しや定着を高める反復練習、発展的な学習を行うことを想定。
また、総合的な学習の時間において、生徒が自身の心や体と向き合うことのきっかけづくりとなるような探究活動と、日常生活に生じる様々な問題や要求に対して上手に対処していくにはどうしたらよいかを考えたり、体験したりすることで身に付けていくライフスキルの学習を行うことを想定。